

会 議 録

1 会議名

第6回春日区地域協議会

2 議題

○ 地域活動支援事業について

(1) 提案事業に関する意見交換（公開）

3 開催日時

平成26年8月6日（水）午後6時30分から午後8時15分まで

4 開催場所

春日謙信交流館 第1会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：飯田功、池杉清子、大竹明德、長田久夫、竹内伊澄、田中実、
中島富士一、橋本桂子、宮腰明浩、宮崎光雄、宮脇信行、
山本紀昭、吉田実、渡部正由

・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事

8 発言の内容

1 開会

【恩田係長】

定刻になりましたので、平成26年度第6回春日区地域協議会を開催いたします。本日の出席人員は現時点で11名です。南雲委員と鷺澤委員からは欠席のご連絡をいただいています。また、竹内委員、田中委員は、間もなくお越しいただけるものと思います。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。はじめに、吉田会長からご挨拶をいただきます。

2 会長挨拶

【吉田会長】

今日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。それから、8月4日に、春日山の古道の整備についての提案があったということで、私たちもイメージが湧かない、場所が分からないということで、現地視察を行いました。朝早くから集まっていただきまして、宮協委員からご案内いただいて、場所等が具体的に分かりました。今日は文書照会の回答を見て、意見交換をしていければと思います。

それから、地域協議会会長会議がございましたので、会議の概略について報告させていただく予定です。よろしくお願いいたします。

【恩田係長】

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただきます。よろしくお願いいたします。

【吉田会長】

それでは、以降の議事進行を務めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。今日は、8時頃の終了を目途に進めてまいりたいと思います。

それから、会議録の確認ですが、名簿順では鷲澤委員なのですが、今日は欠席ということで、渡部委員にお願いします。よろしくお願いいたします。

3 議題

○地域活動支援事業について

(1) 提案事業に関する意見交換

【吉田会長】

それでは、3議題、地域活動支援事業について、(1) 提案事業に関する意見交換に入ります。

これまでも疑問点の洗い出し等でディスカッションをしてきましたけども、今回は文書回答の中身を見て意見交換をします。1件だいたい10分程度で進めて行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。今回、意見交換が終了したら、8月27日で採択を決定いたします。そのための採点もありますので、今日は、いろいろな忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

それでは、「春—15 小学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」ですが、まず疑問点が3つあります。

—疑問点回答シートを読み上げ—

【宮脇委員】

「トロンボーン」と「マーチングユーフォニアム」は2つあるんだけど、減額する場合に、この2つを1つにするというわけにはいかないですかね。この2つは、先にどうしても2つが必要ということですかね。

【吉田会長】

そういうことでしょうね。

【宮脇委員】

1つだと駄目なわけね。

【吉田会長】

これは2台ですからね。

【宮脇委員】

2台で申請してあるから、とりあえず1台ずつっていう訳にいかないわけですか。今の考え方で行けば。

【吉田会長】

金額にすれば、そういうことでしょうけどね。ただ、1台でも不可能ではないと思いますよ。ただ、一応セットとして2台ということであれば、それに相当する金額…。

【宮脇委員】

この、1台で間に合って、もう1台どうしても必要なら考えて使ってくると思うんですけどね。揃えることは聞いていないんですか。

【吉田会長】

楽器の優先順位を聞いただけで、揃えるかどうかは聞いていませんから…。後は、全体の申請金額が残額を上回っておりますので、不採択にならなければ、どこかで減額することになると思います。そういう事も含めて、今後の採点等、採択で調整が必要になって来ると思います。

【飯田委員】

3番目の「チューバ」というのは、見積もりの「マーチングユーフォニアム」ですか。

【吉田会長】

いやいや一番上です。「チューバ」は40万です。他にいかがでしょうか。よろしい

ですか。

【宮崎委員】

この不可能な場合の回答というのは、どれですか。減額された場合のことが、ただ難しいと書いてあるだけで、何も書いてないですけど。

【吉田会長】

難しいというのは、自主財源や寄附等による充当は難しいということです。

【宮崎委員】

自主財源や寄附等で充当するのが、難しいって意味ですか。

【吉田会長】

そうそうお金の工面で、基本的には支援事業から出していただきたいということです。

【宮崎委員】

減額された場合はどうするの。

【吉田会長】

減額された場合の事を考えて、優先順位を回答してあるということです。

【宮崎委員】

分かりました。

【吉田会長】

それでよろしいですか。

【田中委員】

楽器購入の件ですけどね。皆さんお聞きになったかどうか分かりませんが、地域活動支援事業の地域協議委員からの意見・課題という事で私も挙げたんですけども。一部の学校に申請して購入されたとすると、欲しくても購入できない学校があるということで、ある議会の中でも問題になっているということを耳にしました。これは、春日中学校ですか。

【竹内委員】

去年は、高志小学校。

【田中委員】

今回は高志小学校ですか。春日区ばかりじゃなくて上越市全体の話で、やっぱり欲しいっていうんだけど、こうやって提案されない団体もあるということで、アンバ

ランスなんです。

【吉田会長】

それは、我々は確認できていないですね。

【田中委員】

意見の中にも書いたものですから。やはり欲しくても買えない団体もあるのに、ただ地域協議会に提案すれば購入してもらえるとということだと、あまりに不公平があるんじゃないかということです。

【吉田会長】

それは確認が取れていないので、答弁できませんね。

【田中委員】

今日、いらっしゃらないのですが、実際そういう話が出ているそうですから、皆さんのほうもそれなりの人に話を聞いてもらえれば分かると思います。

【吉田会長】

例えば、春日区の中では春日小学校が申請していないのですよね。であれば、共有して借りているとかそういった話は聞いていますけども。ちょっと、他区についてはわからないので今、話を出されても困るんですけどね。

【田中委員】

これから、謙信公祭が始りますけども、実際に、活動支援事業で購入したものか、学校で購入したものか区別はどこかでしてあるのか一応確認してもらいたい。

【吉田会長】

それは、区別はしてあります。区別して管理してもらうんです。今の話題は筋違いですので。それはまた、今後の地域活動支援事業の中の支援の枠から外れるとかということであれば別ですが、今はこれは駄目だということになっていませんので、このまま進めさせていただきます。では、一応「春一15」は、よろしいでしょうか。

(よしの声)

【吉田会長】

次は「春一16 自衛消防団活性化事業」です。

—疑問点回答シートを読み上げ—

これにつきましてご意見をお願いします。

古い写真が付いていますね。随分古いですね。前回、毎年消防ポンプは更新してい

るので、その払下げはできないかと聞いたら駄目だという回答でしたね。勿体ないですよ、本当はまだ使えるのを捨てていると思うんだけど。

【飯田委員】

30万円は減額した。残りの38万4,600円についてということが、あれじゃなかったですか。

【吉田会長】

ポンプですか。

【飯田委員】

私のメモにそうって書いてある。

(皆、一斉に確認する)

【飯田委員】

何か勘違いしていますか。

【吉田会長】

他の方法で補助金をもらう手はあるんだけど、それは3分の1位ですよ。他の助成制度があって、そこからは3分の1もらえるけど、こっちは100パーセントもらえるから、こちらに申請しているんだらうなというふうな解釈をしたわけですけど。

【飯田委員】

実際は68万4,600円でなくて、98万4,600円ということ。

【吉田会長】

申請額は67万円でしょ。それで、一部は町内からの助成金で…。他の助成制度は30万円もらえる制度があるけども、地域活動支援事業なら100パーセントもらえるわけだから。

【飯田委員】

30万円減額した時に、じゃあ何ですのかと。

【吉田会長】

していません。

【飯田委員】

勘違いか。他の助成制度をやめて、こっちにしたということなんですね。

【吉田会長】

でしょうね。こっちなら、100パーセントもらえるわけですから。今の回答だと、

一応減額しても60万円は、必要ですね。これについていかがでしょうかね。

この土橋の消防のOB会は非常に熱心で定期的に訓練されたりしています。こんな真面目な消防のOB会は殆どないですね。普通は飲み会だけのOB会はありますが、飲むだけです。あとは町内の自主防災組織に組み込まれているので、町内の避難訓練があるときは一緒に活動する事はあると思いますけど、わざわざ古いポンプを回して水を出して訓練している熱心な消防のOB会です。

そんな熱心なOB会からの要請なんだけど、本当は市からの古いのを払下げてもらうのが一番よいと思うのですが、今はそれが駄目だということになっているらしくて、仕方ないところかなというところですよ。

いかがですか。ご質問等、何かございますか。

【宮脇委員】

関係ないのですが、当町4月に分町したって書いてあるけど、どういう意味ですか。

【山本副会長】

新土橋ができた。分町して…。

【宮脇委員】

分かりました。

【吉田会長】

他にどうですか。

【田中委員】

これは上越市の他の自主消防団で、他に持っておられるところはあるんですかね。ただこれ、自衛消防団に買ってあげたとしても、先々、楽器と同じもんで、うちの方もエンジン買ってくれという話になってこないですかね。

【吉田会長】

第一、OB会自体がそんなに多くないでしょ。

【田中委員】

うちのOB会はやらないけども。

【吉田会長】

土橋くらいだと思うんだけども。あとは、藤新田もやるかな。

【田中委員】

OB会じゃないと駄目ってことですか。

【吉田会長】

消防団は皆、持っているんですよ。

【田中委員】

消防団は。

【吉田会長】

第1消防部も持っているし、今は、OB会の話ね。

【宮腰委員】

意見交換の話になるかもしれませんが、ようするに活性化ですよ。事業としては活性化事業であって、モデル的な感じで活動しておられるということですよ。どこも一律でOB会を作って、町内会で機材を調達してそういう訓練をなさいよという実態でなくて、ここだけは特別にそういう意識があってやっているということですから、提案としては前向きに捉える提案だと思いますけどね。

【吉田会長】

宮腰委員がおっしゃったように、非常に前向きなOB会ですよ。田中委員が心配されるのも分かりますけどね…。

前回お話しましたが、自主防災組織を各町内で組織していると思いますけど、現職は何か有事の大きな災害になってしまうと、消防団長の指令で他の町内の助けに行ってしまう場合もあります。ですので、自分の町内を守るのはこういった経験のある消防のOB会がいると非常に心強い組織なので、自主防災組織を取り入れていると理想なのです。OB会が無い町内の消防部もありますが、OB会が組織されている中でも、土橋の消防のOB会は理想的な活動されているということは間違いありません。宮腰委員もおっしゃったように、これだけ一生懸命されているOB会はモデルケースだと思いますね。

他、いかがでしょうか。よろしいですか。

(よいとの反応)

それでは次「春—17 春日区の観光PR用ののぼり旗の補充と補強事業」ですが、疑問点が5つあります。

—疑問点回答シートを読み上げ—

【橋本委員】

この間、春日山の調査に向かう途中で同じ様な旗を見たのです。ボロボロのまままで飾ってあって、それでどういう効果を期待したいのかを、改めて聞きたいなと思いました。

ここで、改善したいとおっしゃっていますけども、現状についての把握や認識が甘いのではないかなと。もう少し客観的に計画等の見直しをしたほうがよいのではないかと、きつい言葉かも知れないですけど、そう感じました。

【吉田会長】

設置したらちゃんと管理していただくということですね。

【宮崎委員】

私も質問したのですが、設置場所。春日山停車場線という一時区画にしたのは、これは見直されているんですよね。質問には出ていないですけど、地図だと、春日山停車場線で2ヶ所くらいしか、私は見たことない。それで、山麓線のコーナーにごちゃごちゃとしていた、ということで観光客がここを通るのかどうかですね。

【吉田会長】

採択の段階で、できるだけアピールになる所へ設置して欲しいと、一筆付け加えてお願いするのも必要ですかね。一応、回答シートにも、今後は目立つ所に設置していただけるように徹底する、と書いてありますよね。

【宮崎委員】

観光PRということですから。

【吉田会長】

設置場所を工夫していただくことを…。

【宮崎委員】

お願いします。

【吉田会長】

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

(よいとの反応)

それでは「春一18 春日山城跡整備事業（春日山神社横～御屋敷～神社下駐車場の古道整備）」ですね。

一疑問点回答シートを読み上げー

これにつきまして、ご意見等ありましたらお願いします。

【大竹委員】

意見でなくて疑問点なのですが、何故チップ舗装よりも、この事業を優先するんですかという意見が出されましたよね。それがなんで削除されたんですか。

【吉田会長】

チップ舗装は減額採択したり、今まで色々もめてきたので、その話を蒸し返して出すのは良くないのではないかということで、私たちがカットさせていただきました。気分を害される質問と思いますので、それは質問として省かせていただきました。

【大竹委員】

分かりました。

【吉田会長】

他にないですか。

【田中委員】

③の中で事業内容に応じて関係する上越市・教育委員会、上越コンベンション協会という形であがっていますけども、現実、「春日山城跡保存管理計画」、平成21年3月、土地は、私有地、国の指定管理地、その他に会があるはずなんです。その人たちの土地のはずです。

【吉田会長】

あのエリアですか。

【田中委員】

あのエリアは、その人達の土地のはずなんです。それで、上越市はともかく、このコンベンション協会だとかっていうのは、これは意味が違うんじゃないですか。何か勘違いされているのかわかりませんが。確か、春日山なんとかっていう土地所有者がいらっしゃるはずなんです。

【吉田会長】

この道に限らず、春日山を含めた全体の検討という意味で表現されていると思うんですけども、この回答は。

【田中委員】

それにしても、この管理なさっている教育委員会はやって良いという回答が出てきたのですか。

【吉田会長】

基本的に採択された場合は、所定の手続きをされれば、実施できる見込みだということの説明を受けております。

【田中委員】

春日山保存会という会だと思んですけど。

【恩田係長】

田中委員のおっしゃっている所は市の名義になっています。ですので、差し支えありません。

【吉田会長】

他にいかがでしょうか。

【橋本委員】

意見というか、この文章を読んでも、言葉の端々に協議会に対する不信感といいますか、多分それを感じさせる原因が何かこちら側にあるんだろうなと思います。こういう、事業提案をしてくださる方たちって、この間も歩いて分かりましたけど、私たちでは思いつかないような事を、実際に汗を流して非常に険しい所を保存しようとか整備しようとか地域の為になる事を提案してくださっています。どこかで何かのかたちで、もうちょっと関係改善を計れると、より地域協議会としても地域をこれから一緒に良くしていくうえでも、何か関係の改善が必要な気がしました。この間、皆さんにも案内していただいて歩いてみて、やっぱり大事な事業なんではないかなというふうに感じました。ですので、どんな形になるかあれですけど、採択を望みたいなと思いました。

【吉田会長】

他の皆さん、どうでしょうか。

【宮脇委員】

私も、採択をお願いして是非ともやってもらいたい事業なのです。この回答の②の一番最後に、「地域活動支援事業の補助金で対応できる金額ではないと思う」と書いてあるんですね。で、1次募集で206万を認めて、これ150万をもし認めれば春日地区の予算額の3分の1がこれに使われる。ようするに何故これに出したかというのと、補助金が余っていたから2次募集に出したと書いてあったんですね。もし余っていなかったら出さなかったということですね。これは私が考えるには、これだけの大規模に、教育委員会だとかコンベンションとか打合せしながらやっておきながら、何故こ

れが春日地区の支援事業に出してくるのか。本来であれば、市なり教育委員会の問題であって、そちらが主体になってやるべきだと思うんですね。前回決定したシートのとおり、商工会議所とコンベンションが追討作戦で組んで、決定してやるといった事項を何故半分だけ春日地区に持ってきたのか。黒金門からの整備を是非やってもらいたいんですけど、これは春日地区の支援事業に当てはまる問題じゃないんじゃないかと、疑問に思っています。だから、これが本当に春日地区の問題で再生したいのですが、今後、支援事業では対応できる額ではないと書いてある。来年も再来年も春日地区の支援事業費から食われてしまう。春日山の整備を優先してやってもらいたいと思っていますし、それに関して危惧を感じています。根本的な問題で、地域活動支援事業に申請すること自体に問題があると思います。

【吉田会長】

この整備自体は是非やって欲しいんだけど、財政の出所が違うんじゃないかというご意見でしょうか。

【宮脇委員】

要するに、予算が余っているけど、これが採択されると150万が足りなくなるわけですよね。本当は私的には、是非、早急にやってもらいたいのです。

【吉田会長】

他の委員さんいかがですかね。

【宮崎委員】

この補助金の制度というのは、春日地区の振興ですよ。最終的な目的は。そこを考えると、春日地区の補助金でやるというのも、ちょっと私も納得できないです。住民、区民の為に使うなら大いに結構ですが、ここの団体は常にそういう所ばかりあげてきている。ここらの町内の方々の振興という話は一切聞いておりませんし、さっき橋本委員からあったように、ちょっと我々に対する偏見のような見方があるような気がします。

【田中委員】

手を挙げるといつも悲観的な事ばかり言ってるようで、申し訳ないけど。やってもらいたい事はやってもらいたいのですが。第1次募集の14提案中6団体、第2次募集の8提案中の4団体が町内会長会の人ばかりが提案されているんです。よく、帰って確認されればわかると思いますが、春日区の町内会長会ともっとよくコンタクト

を取らないと、どんどんこういうような状況が出てきます。やること自体は良いことなのですが、町内会長会と、我々で話し合いの場を取り持ったほうがよいのではないのでしょうか。

【吉田会長】

まあ、それは話の内容ですけどね。ありがとうございました。他に、いかがでしょうか。

金額が多いですしね、この辺が全体のバランスに影響があると思いますけど。現実には春日山に上る道なんかは、市から補修されたりしているから本来、市がおこなう事業は対象外とするということになっているので、その辺どう捉えるか迷うところですね。

現地を見て、確かに昔からある道を復元していくというのは、大切かなと思いますけどね。他に、いかがですか。

【飯田委員】

すいません、要は150万の事業費はこの間歩いた所の、どこまでですか。

【宮脇委員】

私たちが通った道で、トイレの下から行って上ったでしょ、あの道です。下の道と上った道です。総延長だいたい210メートル。

【吉田会長】

いかがでしょうか。「春一18」は、以上でよろしいでしょうか。

【橋本委員】

市が、これをやる計画はないのですか。本来は市がやるべきだということから。

【恩田係長】

市の計画はありません。

【宮腰委員】

この提案の持って行く場所が、何処かということで、ここが一番持って来やすかったというところもあると思うんですね。それで、色々質問してみると、春日区の支援事業費の予算の中で対応できるものではないとか、そういうものではなくて、協議会とこの提案の団体と、町内会長会とか、各町内会と共同してやろうとしているとか、そういう趣旨での回答がちょっと欲しいですよ。ここは、今は市の方で計画はないとなれば、これだけの計画があって、全体計画の中で進めたいのだけど、ここだけは

どうしてもやりたいから、この部分は支援事業の中でなんとかできないかというような話で提案してくれると、我々としては、聞きやすいし理解もしやすいですしね。きちきちとこられると、何か溝を作ろうとしているような感じもなきにしもあらずで、そういう捉え方もできようかと思うのです。要するに、採択の点数付けをこれからやるわけですが、その中で、この提案事業に対する評価が極端に割れるのではないかと私は思います。ですので、その辺のところを、もう少し意見を出し合って、すり合わせが必要なのではないかと思います。

【吉田会長】

ありがとうございました。他は…。

【池杉委員】

現場視察に行かせてもらって、それこそ宮脇さんに教えてもらったので、凄く分かりやすかったのもあるんですけど。私の春日山町2丁目は毎年10月に町内で春日山にハイキングに行くんですね。地域活動支援事業の成果という感じで、支援事業で整備された道を通ったりします。また犬の散歩をされる人もいらっしゃいますし、春日山に登られる人もいますので、整備されることによって地域に還元されているというふうに思います。ここに来て20年近く経ちますが、この間の現場視察で、ミョウガ畑に感激したり、多くの知らない道を知る事ができて、とても勉強になりました。ですので、これを機会に、せっかく支援事業で整備された道を他の地域の人にも知ってもらい、還元されたらよいと思いました。

【竹内委員】

私も、この間の現場視察で案内していただいて、あの道を初めて知りました。ただちょっと疑問なのは、この事業の実施方法で、生い茂る草を刈り払い1.5～1.8メートルの道幅を確保すると。あそこは、これくらいしかない道幅を柵みたいなのでどうやって道幅を確保するのかなと。それでこの費用のところ、木の階段を作ったという見積りしか入っていないのに、その道幅をどうやってするのかと、疑問を感じました。けれども、疑問点回答シートの②の最後のほうに、「民有地で史跡指定外であり、公有地化と史跡指定地化の運動の突破口としての狙いもある」というふうに書いてあるのですが、宮脇委員からもそんな話を聞いたような気がするのです。全て駄目だ駄目だというふうに足かせではなくて、何か少しでもアクションを起こしてできたらよいなど、現地を視察してみて思いました。

【宮脇委員】

ちょっとよいですか。その件に関して、全体は国の史跡なわけですが、それは国からの許可無くして手を付けられないという事が大原則ですから、その突破口というのは、民営地をやることによって実績を作って国を動かそう、という意味だと思うんですけど、私はさっきから同じ事を言っていますが、やはりやる主体が違うんじゃないかと思うんですよね。昔の大手通りの古道を元に復元しましたよね。あれはやっぱり国の金を使ってやったわけでしょうね。

【吉田会長】

大手池の方ですよ。

【宮脇委員】

やっているわけですよ。何で、こっちも同じようにできないかなということが、疑問ですね。先ほど係長も言ったけど、市では全然予定がないと言っている。この5ヶ年計画の分厚い奴に、何故これが入っていなかったかね。

【吉田会長】

まだ、そこまであまり認識されていなかったんじゃないですか。

【宮脇委員】

そんなことはないですよ。だって、ベンチを作るとかね、せいぜいその程度だね、不思議なんですよ。

【吉田会長】

今日の議論の中では道の整備については、皆さん賛成なのですよ。問題は財政ですね。地域活動支援事業費から出すべきか、市なり行政が整備すべきなのか。まあ、他にも組織があるかも知れませんがね。そのところが論点になりそうなので、その辺を少し意識していきたいと思いますが。

【橋本委員】

地域協議会の審議事項としてここに乘っかっている時点で、市が本来やるべきということばかりでもない要素の判断の上に、ここに審議事項としてあるので、そこで評価するという事なのかと思いますが。

【吉田会長】

市は急にはできないですよ。計画した上で予算化していくわけだから。

【橋本委員】

そうでなくて、市の窓口に持ってこられるわけですよね。その時点で、これは地域協議会でやるような話ではないですと、仕分けをされずに…。

【吉田会長】

ファジーな部分もあるけどね。

【橋本委員】

そうですね。そのファジーな部分として、全く協議会の範疇ではないという話でもない気がするのです。

【吉田会長】

それはそうです。

【宮脇委員】

許可したって事は、市でも範疇であるということは確かなんだけど、本来は筋が違うだろうと。確かに地域協議会の活動支援事業でも受けられるけど、ものすごく良いけれど、本来で考えたらね、予算的に付けて教育委員会なり市なりの大きな組織でやってもらって、我々のようなわずかな予算の中からもぎり取っていくことないだろうということですよ。

【池杉委員】

ちゃんとしたのを作って欲しいんですよ。そうじゃないと、中途半端な…。

【宮腰委員】

ざっくりばらんに言えば、提案も事業も多いし金額も大きいから、今回残りをさせてくださいということであれば、残額を見て提案してきているのだから、それでよいですよということになると思う。ジオラマであれだけやったんだから…。

【大竹委員】

春日区の地域協議会として市の方にご提案申しあげたらどうですか。こういう事業をやっている団体がありますが、市の方で補助していただだけませんかというようなことで、それが地域の活性化にも繋がるんじゃないか。我々の存在感もあるんじゃないですか。

【宮腰委員】

ジオラマの200万降りたから。だって、コンベンションと商工会議所で100万ずつ出しているでしょ。ということは、出せるんだよね。じゃあ、何でジオラマだけ。

【吉田会長】

ジオラマとは違いますよ。大竹委員がおっしゃりたいのは、一旦不採択にするわけですか。

【大竹委員】

いや、不採択ではなくてある程度、呼び水代というかね、そのような金額は少しは協議会としても認めて、あと不足分は市の方にご提案申し上げます。次年度にでも、文化行政課が理解して必要だと思えば、予算化されるかも知れませんが、今年度は無理です。緊急性もないし。

【田中委員】

保存計画の中にああしなさい、こうしなさいって載っているんですよ。その中に提案した経緯については、金が余ったから提案するんですよ。

【吉田会長】

そういうふうにとれると。

【田中委員】

だから金だけだとしなかったんだと思いますけど。正直言って、春日山城跡の理事をやらせてもらっていますけど、この話は一切聞いてないですしね。この提案する話は会議の中に、事前に会員に説明してその中から提案させてもらっています。明らかに、金余ったからもう一回やるぞということでしょうね。

【吉田会長】

まあ、やること自身は非常に素晴らしいことだと思います。とにかく、財源をどうするか、これに支出した場合は他の事業に相当影響あるということは、重々委員の皆さんは理解していただきたいです。

時間もないので、次回に協議して採択していきたいと思います。

それでは「春一19 春日区障害児すくすく支援事業」ですね。

－疑問点回答シートを読み上げ－

【田中委員】

この間も言いましたが、生涯学習センターといって、森の中に素晴らしい3階建の建物を造って、障害関係の教育とか指導をやる学部があるんです。やっぱり、交通費とか講師の件に関しては、無いのならお願いしてもよいけど、現実そこに大きな建物が、正面向かって左側の森の中にありますから…。

【吉田会長】

そこを、利用するということですか。

【田中委員】

そこを利用すれば、交通費とか…。

【吉田会長】

先生が変わっちゃうと駄目だと、慣れた先生でないと駄目という話だったのではないですか。

【田中委員】

同じだと思うけどね。

【宮腰委員】

障害児っていうのは我々が考えの及ばない所で、人と一緒になれないとか、そういう障害児もいるわけですよ。それで、ここの人達はそういうものではなくて、お互いに相性が合うので、専門用語は分かりませんが、子供たちが生き生きできる所を求めているので、なかなか理屈理論でこの先生を東京からわざわざ呼ばないでよいとか、我々が一概にそう言えないことがあるような感じなんですね。だから、この辺はどうなんですかね。我々の勉強不足もあるかも知れませんが、福祉関係の人の話も聞いてもよいかなとは思いますが、必要なのだと思います。上手く行っているから必要なのだと思うし、これからさらに拡大していくためには、どうするんですかということですが、今後の課題になってきますけどね。今の提案の内容を、どうのこうのと言えないのではないかなと思います。だから、認めるか認めないかということになるのだと私は思いますけどね。

【池杉委員】

一昨年ですかね、ポップコーンさんの事例発表をお忙しい中やってくださったと思うのですが、本当によくやっていらっしゃるなと思いました。上教大とか、言葉の教室とか公的な機関はいっぱいあると思うのですね。ただそれは、月に何回だとか設定されていて毎日あるわけではないので、プラスアルファで自主的にされているわけですね。それで、実際の子供たちを理解されている先生との交流というのは、何よりも他の先生でも変えがたいものだから、こうして何年も続けている価値はあるんだろうなと、そこら辺は思い測ってあげたらよいところだと思うんですね。宮腰委員がおっしゃったように、私たちの想像以上の何かがあるのではないかなと思うので。ここにも書いてあるのですが、会員の負担を増やすというのも良いのかなと思う部分もあ

るんですけど、でも、やっぱり障害を持ったお子さんを育てるというのは、本当にまだまだ社会の中では受け入れられないし、もっと応援してあげたい。口では簡単だけど、実際には行動しきれない部分があるので、金額だってそれ程でもないし、附帯意見として、もうちょっと発展的にとは思いますが、良い事業だと思って支援したいと思います。

【吉田会長】

私達も、勉強しなくてははいけませんね。

【竹内委員】

私は、障害者の健康づくり教室を十何年とやっているのですよ。本当に慣れるまでは時間かかるのですが、慣れると本当に私は助手のように横にいるんですね。だから、この先生とはすごくコミュニケーションが取れていて、多分良い人間関係が作られているんだと思います。だからここにも書いてありますが、上教大の先生もいますよ、市にもいますよと言っても、できる限りこの規模でやっていきたいということは、この先生とずっとやっていきたいということだと思います。会員の負担を増やしても、これを続けていきたいという気持ちがこもっていますので、私たちがポップコーンさんのやっている事業が素晴らしいと思えば、言い方は失礼ですが、たいした金額でもないで通してあげればよいかなと思います。附帯意見として、福祉交流プラザの1階にも小さい子ですが障害児を受け入れて、お母さんも月に何回か通ってというようなものもあるので、ポップコーンだけではなく、行政や色々な所と連携していかれると、もっと素晴らしい活動になるのではないかなと思います。

【吉田会長】

はい、ありがとうございました。「春—19」は以上でよろしいですか。

(よしの声)

それでは、「春—20 大学前仲間づくりと、生きがいつくり、交流サロン事業」です。

—疑問点回答シートを読み上げ—

これについてのご意見いかがでしょうか。

【長田委員】

この、サロンの話はこれから高齢化社会を迎えるわけですから、そこら中から出て貰いたいというのはあると思います。ただ、これを見ると備品ばかりなんですよね。

ところが、裏を返すと1回やってしまえば、これである程度の物は揃ってしまうわけですよ。そうすると、投資効果としては、やっていただければこの後、子育てしている人も高齢者も皆集まれる場所を作ってやるんだという意味からすれば、非常に良いと思うんですよね。上越市のそこら中にできてもらいたいようなものだと思うんですけどね。その辺、今回は備品だけで、後の費用は自分でやりますということになっていきますからね。

【吉田会長】

今回はスタートなので備品だけですよ。次年度は事業について何か出てくるかも知れないですよ。それは聞いていないから分かりませんが。今回は備品関係でそれがこの地域活動支援事業に相応しいかといった観点と、引き続いて他にもサロンを立ち上げて行って、そういう中のこういった提案がふさわしいかどうかを審議、意見交換をお願いしたいのですが。

【宮崎委員】

これを、買っちゃうと町内会にこの備品をほとんど利用されるのではないですか。町内会で買わなくてよいわけだから。

【吉田会長】

前日もその意見はありました。相応しいという意見もあれば、町内会が出てから相応しくないという意見もあるかと思うので。ただ、宮崎委員は相応しくないというお考えでよろしいですかね。他の委員さんはいかがですか。

【橋本委員】

疑問点②の答えに対して、新潟の「うちの実家」へも見学に行ってきましたというのがありますが、この事業提案の内容と「うちの実家」の事業の内容が本質的に違うんですよ。「うちの実家」は確か、個人のお宅のようなものを利用して、居心地を重視していて、物が揃えばということでもなく、場所と人がまずある事。事業の内容についてとやかく言える資格はないですけども、何かその辺がちょっとひっかかるものがあります。今回のはとても心がこもっているなどは思いますが、事業の内容に関して目指されている方向性と、今回の手法というものについて個人的に何となく、疑問とか違和感が感じています。

【宮腰委員】

橋本委員が言われたように、「うちの実家」というのは新潟で要するにくつろげる場

所を提供しているわけです。「うちの実家」さんも当時はいくらかあって、軽食を出したりして、好きな時間居てください、帰りたいかたは自由にお帰りくださいというような感じで、やっていたそうですよね。もう、私の役目は終わったと言って、止めたけどね。板倉でも…。

【吉田会長】

ねごしの里。

【宮腰委員】

ああいう感じなので、この事業の提案の中で例えばこの机、椅子とかテレビとかありましたよね。そういう物を、イニシャルコストとして捉えて、そういう発展をさせていきたいというつもりで提案されたんだと思うんだけど、内容は什器備品の購入事業みたいですよ。最低でもこの辺は、町内会でこれを使って、これだけ足りないからお願いしますというような提案がされていると、非常に理解がしやすいのですが、回答の中ではそういう事で今後を見てくださという感じの説明ですよ。

【吉田会長】

他の委員さん、いかがでしょうか。

私も前回じっくり見たのですが、足の膝が悪いとあぐらがかけませんよね。だから、椅子とテーブル入れるくらいは、町内の備品と考えるとあれなんだけど、それくらいは補助してもよいかと思いますけどね。他の物については、ちょっと値段も張るしね。春日野いきいきサロンさんに続いてこういう所を解消しようとしているのでその辺をどう捉えるかということもあるかと思いますがね。

それでは、春一20は以上とさせていただきます。

最後に「春一21 春日地区活性化支援事業」です。

—疑問点回答シートを読み上げ—

【飯田委員】

この150万の皮の張り替えの話は聞いたんですよ。色んな所に行って、依頼された謝礼とかをみんな貯めて、張り替えしたそうです。謝礼といっても、少ない所だと5千円くらいだし、ほとんどの場合は弁当だけらしいし、人間も多いから移動も大変だそうです。かなり貢献度はあると思うんですけどね。

【田中委員】

これから謙信公祭も、一生懸命にやっていただくので、できれば減額しても半分く

らいはお願いできればありがたいと思います。本当に一生懸命ボランティアでやってくれているんです。

【宮崎委員】

この見積書の中の、多目的研修センターの使用料の何割かは無料にならないの。市の施設だし、この前確認しましたか。

【飯田委員】

元々林業関係で施設を作ったそうなんですけども、そこからスタートしているから借りる時には、お前たち負担してくれということ、ずっと来ている。それが市に移管したわけですから、だからそのまま継続しているんじゃないですか。ですから免除申請は駄目だといわれるかどうかの話なので。

【宮崎委員】

補助金とは関係ないんですけども。

【吉田会長】

そういう話は今時間ないので。市の事業で何かするのに限るなら免除もあるかも知れないですけど、そういうのとはまた違いますよね。では春一21は以上でよろしいでしょうか。

それでは「春一22 デザインマーケット上越事業」

一疑問点回答シートを読み上げー

【宮腰委員】

私はこういう事業こそ、本当に支援してやって伸ばすべきだと思うのですよね。ここはどこをモデルにしているのか分かりませんが、そこら中でクラフト展みたいなものがいっぱいありますね。そういう意味では色々考えてみるとモデルにしたのは、松本のクラフト展だと思うのですが、あれだって昔は小さい規模だったのですが、今や応募多数で入りきらないで抽選だといって、すると出店料も上げるわけです。ここで、そういうものを育てていけるかどうかということで、昨年第1回で、今年これで認められれば第2回になるのだけど、これこそ伸びていく、我々としても伸ばしていくべき行事だと思うんですね。

要するにそういう観点からしても、今回の質問には出しませんでしたが、どこをモデルに見て、どのくらいの年数でどのくらいの規模でというのが、主催者がわかれば聞きたいところです。

【竹内委員】

私も前回、近所なので デザインマーケットに参加させてもらったんですけども、参加者に若いファミリーが多かったのですね。色んな事業をやっているけど、若いファミリーが来るのは上越市は少ないんじゃないかと思うんですよ。何をやっても、結構高齢者の人は来るんだけど、若い人が来ないというのが多いんですけど、このデザインマーケットはすごく若い人が多いなど、最初入った時に思ったんですよ。本当に若い人たちが沢山来てくれていて、どうやってこの事業を知ったのかなと思うくらい、沢山の人が来ていたので、是非これは続けていっていただきたいなと思います。

春日地区の中であそこの公園は真ん中であって、すごく良い所にあるのに、何も使っていないというのが、現状なんですよ。だから、是非あそこを使っていただいて、PRしていただければよいと思います。

【大竹委員】

もっと宣伝して周知徹底するようにして、宣伝の仕方が足りない。新聞のお知らせ欄なども利用するとよいと思います。

【吉田会長】

では、採択の時に附帯意見でもっと宣伝するように言ってください。できれば、トラック市も含めてああいうのとコラボでね、もっと賑やかにするのもよいですよ。

【竹内委員】

そうすると若い人も、年寄りも来る。

【吉田会長】

はい、では時間もないので以上でよろしいでしょうか。

(よしの声)

文章照会の報告とそれから意見交換で終わりにしたいと思います。採点の締め切りについて事務局から説明をしていただきます。

【恩田係長】

8月19日に事務局に到着するよう、郵送もしくはご持参いただきたいと思います。

【吉田会長】

それを集計していただいて、次回開催日は27日(水)ということですよ。

4 その他

【吉田会長】

冒頭で話しましたがその他としまして、私のほうから地域協議会会長会議がございまして、上越市の地域協議会の検証会議があって中間報告が出ています。検証会議というのは、協議会の全部を話し合っているわけではなくて、制度上の課題や地域活動支援事業について、ある程度絞った事を検証会議で大学の先生とかが研究されていて、その中間報告について私たちも意見交換させていただきました。その中で、地域協議会のあり方とか、方向性、諮問事項と、色々話がありました。

その中に、今後構成員に若い人や女性も含めてもっと応募して欲しいとか、そういった意見があったり、諮問事項については私たちはあまり難しいのは無かったかもしれませんが、諏訪区のほうですかね、「焼却場」とか、高田のほうで「厚生産業会館」とかそういった諮問があったわけですけど、非常に専門的でわかりづらいということです。本当にこういった所で図るべき内容かということで、それが適切かどうか。非常に難しい課題についてはこのまま、諮問のやり方も考えていかなければいけないかな、というのが例題として出ておりました。

それから、委員の公募については協議会自身の周知、それから委員になるには行政の大切さといいますか、研修。委員の報酬の話の中で、報酬は出さないという話が大半だと思うのですが、その中で研修費はある程度予算化していただければ、手当てしていただければいい、そんな話でした。

そういう事で、検証会議の中間報告なんですけど、最終版が来年1月を目途に出てきますので、学識経験者による検証結果の最終報告については内容をみて市としての方向性を出される1つの指針になるでしょうし、私たちも参考にしていきたいと思えます。

これについて何か、補足説明はありますか。

【北島センター長】

特に、事務局からはございません。

【吉田会長】

これで、本日の議題は終わりなのですが、事務局から他に何かありますか。

【恩田係長】

ございません。

5 閉会

【吉田会長】

なければ、以上で終わります。

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。